

旭川の温泉は昆布風呂

東区・紫南支部
(上ノ町・加治屋クリニック) 上ノ町 仁

平成30年9月14日(金)から16日(日)まで旭川で日本高血圧学会が開催された。9月6日午前3時7分に北海道胆振東部地震が発生したため、開催が危ぶまれていたが、旭川方面はライフラインの被害もあまりなく空港や鉄道のアクセスも支障のないことが確認され、予定通り開催された。

私は、外来の関係で14日の午後鹿児島空港から伊丹経由で新千歳空港を経て夜10時頃札幌に着いた。駅舎は節電中で薄暗く、近くのコンビニでお茶でも買ってチェックインしようかと思い、セブンイレブンに立ち寄ったら水物や食料品がほとんどない！地震の影響をここに見た。幸いそばのファミマには10数本のお茶や数点の食料品があり、お茶のペットボトルを片手にホテルへ入った。

翌日、8時30分の特急で札幌から旭川へ向かい、学会へ参加した。旭川のホテルは駅前の「天然温泉プレミアホテル-CABIN-旭川」で、そのうたい文句は、「CABINの温泉は旭川中心部で唯一の湯量を誇る中性低張性冷泉『かぐらの湯』。ホテル敷地内の温泉井戸から直接汲み上げている天然温泉は、カルシウムやマグネシウムが含まれた炭酸水素塩泉です。炭酸水素は肌の新陳代謝を促し本来の美しさを保つお手伝いをします。湯は無色透明で透き通るような美しさを持ち、湯上りはさっぱりとした清涼感が特徴です。冷え性の抑制効果もあるので寒暖差の激しい旭川の四季それぞれをお楽しみいただけます」、ときた。泉質は中性低張性冷鉱泉で加温、ろ過循環式であり、浴槽の種類は主浴槽、気泡風呂、露天風呂、サウナがあった。

学会から帰り早速温泉タイムだ。入浴者は

自分ひとりだったので温泉を独占、パラダイスである。洗い場で体をきれいにし、まずは気泡風呂に入った。下から気泡が出てきて全体がそれに包まる。気泡の刺激も程よく心地いい。寝そべって足を伸ばすと、両下肢に気持ち良くまとわりつくものがある。触られ心地がいい。触られ離れの感触は、数ある温泉に入ったが初めての経験で感動した。なるほどさすが、北海道だけに浴槽に昆布のようなものが仕掛けたのか？その後隣の主浴槽も堪能したのでお肌のつやも良くなったと信じ込み、再度昆布のようなあの感覚を楽しみに、そそきとあの気泡風呂へ。先ほどと同様足元にまとわる心地よさの再現だ。この感触にしばらく悦に入り、旅行会社の人も気の利いたホテルをチョイスしてくれたものだと、気泡に包まれつつ感謝した。

入浴客は自分ひとりだったので、ゆっくりそして充分に旭川の温泉を堪能できた。特に昆布風呂の触られ感・くすぐられ感は最高であった。さて、冷たいビールでも一杯と思いつつ風呂から上がると、ない、また、ない。今度は財布ではなく(医報9号参照)体を拭く新しいタオルが、ない！確かに気泡風呂のヘリに置いていたのが、ない。入浴客は自分ひとりなので盗られようも、ない。周りをみわたしてもタオルが、ない・・・もしかして・・・昆布？水面は気泡であふれ底は見えない。慌てず騒がず手探りで昆布もどきを探しあて、拾い上げたら・・・持参のタオル！久々の再会！でも、感動は、ない！なるほど、この浴槽はろ過循環式であり、持参のタオルが何らかの拍子にヘリから落ちて吸水口に吸い込まれ、そのまま昆布のようにゆらゆら揺れて、

[隨筆・その他]

私の足に絡まり離れを繰り返し心地よさを醸し出していたのだ。再度周りを見渡すも入浴客は自分ひとりで、この騒動は人知れず解決した。が、再度言う・・・「心地よかった」。

この紙面を借りてCABIN様には昆布騒動のお詫びを申し上げたい。ただ、タオルは未使用で、ろ過循環式のため不純物は除去されるので後から入浴される方々にもご迷惑はかけていないと思いますが、誠にすみませんでした。が、再再度言う・・・「昆布風呂は心地よかった」。

皆さん、旭川を訪れた際には是非「天然温泉プレミアホテル-CABIN-旭川」にお泊まりください。ただし、昆布風呂厳禁でお願いします！

